

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回吉川市介護福祉推進協議会
開 催 日 時	令和5年11月7日(火) 午後7時00分から午後7時45分まで
開 催 場 所	吉川市役所301・302会議室
出席委員(者)氏名	保科寧子委員、戸張英男委員、馬場富美子委員、玉川洋子委員、 岩崎武司委員、秦英世委員、柳澤一之委員、峯健二委員、雨宮文範委員、 岡田良訓委員
欠席委員(者)氏名	相羽直人委員、長棟美幸委員、豊田洋一委員
担当課職員職氏名	健康長寿部部长 小林以津己 介護給付係長 関根奈津枝 長寿支援課長 山口剛介 高齢福祉係主任 野口英里子 課長補佐兼高齢福祉係長 石塚晶則 課長補佐兼介護認定係 飯田智子
会議次第と会議の公開又は非公開の別	1 開会 2 議事 (1) 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討 (2) パブリックコメントの実施について 3 その他 4 閉会 公開
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0名
会議資料の名称	・令和5年度第4回吉川市介護福祉推進協議会 次第 (資料1) 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討 (資料2) 管理指標と重点的に取り組む事業の設定(案) (資料3) 介護サービス量・給付費などの見込み(第8期計画の一部抜粋)
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	秦英世委員、柳澤一之委員
その他の必要事項	なし

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1 開会 只今から、令和5年度第4回吉川市介護福祉推進協議会を開催する。 開会にあたり、保科会長よりご挨拶をお願いします。
保科会長	(あいさつ)
事務局	(本日の会議資料の確認) 議事について、進行は保科会長をお願いします。
保科会長	出席委員は、13名中10名で過半数に達しており、会議が成立することを報告する。 議事録署名委員を秦委員、柳澤委員をお願いします。 吉川市市民参画条例により、本会議は公開となる。 (傍聴希望者の確認、傍聴希望者なし)
保科会長	2 議事 それでは議事に入る。 (1) 第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討について事務局から説明を。
事務局	(資料1「第9期吉川市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案の検討について」説明。)
岩崎委員	現在、年末に向け厚労省で介護保険料に関する話し合いが進んでいる。それを踏まえ、第8章の内容が示されると理解するが、今後のスケジュールを伺いたい。
事務局	国から示される時期によってお示しする内容に精査が必要であると考えている。現在は予定通りの開催にむけ準備を進めたい。
秦委員	全国で第9期計画の策定を進めている。当市の計画策定に参考となる事項をお話する。まず在宅医療と介護連携の強化および市民理解に関して、越谷市では「越谷市まちかど介護相談薬局の指定」を推進している。介護保険の相談や在宅介護サービスに関する情報提供を行っており、地域包括支援センター以外の相談先として、身近な薬局を活用した良い事例である。また、高齢者の休日診療について検討を進めるとよいと考える。 次に、高齢者の居場所づくりに関して、流山市では高齢者が自由に集える場所として民家を活用した「高齢者ふれあいの家」の運営の一部補助を行っている。明石市では地域食堂を推進し小学校等を会場としている。食事を一緒にとることで、高齢者も子どもたちと仲良くなるきっかけの一助となると考える。 最後に、高齢者は自動車を手放すことも多いため、移動スーパーの検討、市保有のバスの活用について検討を進めるとよい。
小林部長	多くのアイデア、情報提供いただき有難い。他市の好事例はアンテナを高くして収集するよう努めている。すぐに採用できるものではないが、お話しくださった取り組みについて、市だけでなく地域の事業所等と連携・協力で成り立つ事業が多い。これからの高齢者福祉および介護保険事業は行政だけで支えていくことは大変難しく、そういった関係者と連携・協力もしくは新たな仕組みの構築が必要である、まさに典型的な例であると考えている。そのことを念頭におきながら、高齢福祉の在り方について引き続きしっかり考えていきたい。もう一つは今のお話いただいた内容は、必ずしも高齢者の福祉だけではなく地域全体の福祉に係ることでもあるため、他の福祉分野に情報提供し横の連携を図っていきたい。

峯委員	本計画の基本理念や地域の理想像が示すものは、高齢者が億劫がらずに出かけていける居場所があちこちにあることだと理解する。体力づくりの促進に関する施策はあるが、趣味趣向の促進、好きなことが夢中でできる場所の提供といった、生きがいづくりに関する施策をもっと盛り込めるとよい。
小林部長	文化芸術やスポーツの推進の取り組みの中で、ただ文化芸術を広める、スポーツで健康になるといった一面だけでなく、それらの取り組みが高齢者、障がい者、子どもも含め、その方たちが色々な場所で活躍でき、生きがいにつながるような視点で施策を進めている。いただいたご意見を踏まえて本計画にどのように盛り込めるよう検討を進める。
峯委員	何か熱中するものもっている方は健康な方が多いと感じる。ちょっとしたことでも出かけていける、行動できる習慣がついている。介護施設の充実ももちろん大事であるが、もっと小さな視点でアクティブな高齢者を応援できるような取り組みを推進して欲しい。 (その他意見なし)
保科会長	(2) パブリックコメントの実施について 事務局から説明を。
事務局	(議題2「パブリックコメントの実施について」を説明。)
峯委員	パブリックコメントの意見は公開するか。またお年寄りにはホームページを見ない、広く周知できるような方法や対策を検討いただきたい。
事務局	いただいた意見は公開する。周知の手段として難しい部分がある。ぜひ身近な方々にパブリックコメントの実施についてお声かけいただきたい。
岩崎委員	第8章を含めた内容はどこかで提示するのか。
事務局	時間的な問題により第8章を含めたパブリックコメントは実施できない。最終的な意思決定は条例改正で議会にかけることであり、それを補完するような形であることをご理解いただきたい。 (その他意見なし)
保科会長	本日の議事については、以上で終了とする。
事務局	3 その他 予定どおり開催できるよう全力で努めるが、開催後に追加資料および情報提供の対応で完成に向けて作業を進める場合があることもご理解いただきたい。委員の皆さまにしっかりと議論していただけるよう、開催時間の調整およびやり方の工夫をしたいと考える。 4 閉会
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和5年12月14日 署名委員 自署 署名委員 自署	